

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第78号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年4月4日 13時00分ごろ	
発生場所	東京都大島元町港突堤灯台から真方位265°7海里（M）付近 （概位 北緯34°44.562′ 東経139°12.519′）	
事故等調査の経過	平成21年4月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 ^{せんりゅう}泉隆丸、498トン 140326、泉汽船株式会社</p> <p>B 遊漁船 ^{もりりゅう}森竜丸、16トン 210-39318静岡、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、四級海技士（航海） 次席二等航海士、四級海技士（航海）</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	<p>A なし</p> <p>B なし</p>	
損傷	<p>A 左舷中央部外板に塗料剥離を伴う擦過傷</p> <p>B 船首部破損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長A及び次席二等航海士Aほか3人が乗り組み、次席二等航海士Aが針路約235°速力約11.0ノットとして自動操舵で船橋当直中、左舷前方にB船を含む複数の小型船を認めたが、B船の前方を航行していた小型船数隻が避航したので、B船も避航するものと思い、そのまま航行した。</p> <p>B船は、船長が1人で乗り組み、釣客5人を乗せて、東京都利島から静岡県網代港に向け、針路約345°速力約16.0ノットとして自動操舵で帰航中、船長Bが居眠りに陥った。</p> <p>A船及びB船は、平成21年4月4日13時00分ごろ、大島西方沖において、A船左舷中央部とB船船首部が衝突したものの、両船とも航行に支障はなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南南西、風速 約5m/s、視程 約6M</p> <p>海象：波高 約1m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は南西進中、B船は北北西進中、大島西方沖において、衝突したものと考えられる。</p> <p>A船は、左舷前方から接近してきたB船が避航するものと思い込み、適切な見張りを行わなかった可能性があると考えられる。</p>

	B船は、船長が居眠りに陥っていた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、大島西方沖において、A船が南西進中、B船が北北西進中、船長Aが適切な見張りを行わず、また、船長Bが居眠りに陥ったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。